

1 沿革

年	月	事 項
大正 8 (1919)	12	開港60年・自治制30周年記念事業として図書館の建設を計画。
10 (1921)	6	横浜公園内の建設事務所内仮閲覧所で図書の閲覧開始(横浜市図書館の開業)。
12 (1923)	9	関東大震災により建物と蔵書を焼失。
	12	中村町のバラックに仮閲覧所を設置し、閲覧開始。
13 (1924)	3	横浜公園内に仮本館が竣工し、落成記念に震災展覧会を開催。
	4	閲覧業務を実施。
	9	館外貸出を実施。
昭和 2 (1927)	7	旧老松小学校跡に横浜市図書館竣工。
5 (1930)	1	『横浜市図書館報』創刊。
9 (1934)	11	巡回文庫開設(4隣保館に図書の一括貸出)。
12 (1937)	7	横浜市図書館を後援し各種文化事業を行う「横浜読書協会」を設立。
14 (1939)	4	町村合併により、都筑郡都岡村、田奈村、及び鎌倉郡瀬谷村の各図書館を廃止し本館閲覧所として設置。
19 (1944)	10	一般閲覧室を市会議場として使用。
20 (1945)	3	横浜連隊区司令部の接収により戸部小学校に移転。図書館の建物は、終戦後米軍に続いて市復興局が使用。
	9	戸部小学校から教育会館に移転。
22 (1947)	8	移転先より野毛に復帰。
	9	開架式で閲覧業務を再開。
25 (1950)	4	館外個人貸出開始。 図書館法公布で閲覧無料となる。
29 (1954)	10	団体貸出事業開始。 読書週間行事として1日図書館長(女優 岸惠子)実施。
32 (1957)	3	『郷土よこはま』創刊。
33 (1958)	8	巡回緑陰子供図書館を日吉の慶応大学構内等で実施。
34 (1959)	5	「サンディエゴ＝横浜友情文庫」を特設。
	7	貸出文庫用自動車購入。翌年1月から本格的に配本開始。
35 (1960)	5	日吉閲覧所開設(44年9月団体貸出に移行)。
38 (1963)	1	新館増改築工事竣工。
44 (1969)	8	団体貸出用広報『ひろば』創刊。
45 (1970)	4	横浜市図書館報『こだま』創刊。
	8	移動図書館「はまかぜ1号・2号」による巡回貸出開始(トークン式※1)。
47 (1972)	10	『横浜市図書館行政の施策と展望(意見具申)』(横浜市社会教育委員会議)が出される。
48 (1973)	11	「横浜市総合計画1985」策定。方面別図書館建設の方針が出される。

年	月	事 項
昭和 49 (1974)	10	磯子図書館開館。市立図書館2館となる。
52 (1977)	4	山内図書館開館。市立図書館3館となる。
53 (1978)	11	戸塚図書館開館。市立図書館4館となる。 初めて貸出にコンピュータ方式を採用。
54 (1979)	5	戸塚図書館で視覚障害者サービス開始。
55 (1980)	1	鶴見図書館開館。市立図書館5館となる。
	5	金沢図書館開館。市立図書館6館となる。
	6	磯子図書館(フォトチャージング式※2)、山内図書館(記名トークン式※3)の貸出方法をコンピュータ方式に転換。
	7	『こだま』『ひろば』を統合し、図書館報『よこはま』創刊。
	8	港北図書館開館。市立図書館7館となる。
	9	中国・上海図書館との図書交換開始。
56 (1981)	1	中国・遼寧省図書館との図書交換開始。
	4	図書館間の連絡車が稼動。
	10	横浜市図書館創立60周年記念講演会・パネル展開催。
	12	「よこはま21世紀プラン」策定。1区1館建設及び中央図書館建設方針を確立。
57 (1982)	5	保土ヶ谷図書館開館。市立図書館8館となる。
	9	戸塚図書館で台風により地下書庫の冠水被害。
58 (1983)	2	戸塚図書館で団体貸出開始。
59 (1984)	3	金沢図書館、港北図書館で団体貸出開始。
60 (1985)	1	瀬谷図書館開館。市立図書館9館となる。
	3	保土ヶ谷図書館で団体貸出開始。
	10	港北図書館で視覚障害者サービス開始。
61 (1986)	5	旭図書館開館。市立図書館10館となる。
	10	「横浜市中心図書館基本構想委員会」設置。
62 (1987)	1	港南図書館開館。市立図書館11館となる。
	4	地域図書館の火へ木曜日の開館時間を午後7時までに延長(金曜日は以前から7時)。
	5	『横浜市中心図書館基本構想委員会報告書』提出される。
	10	神奈川図書館開館。市立図書館12館となる。
	11	各図書館報を統合して横浜市立図書館報『横浜』創刊。「文化の日」開館開始。



横浜市図書館中村町仮閲覧所(大正12年頃)
『横浜市図書館概要』(昭和2年)より

年	月	事 項	年	月	事 項
昭和 62 (1987)	12	保土ヶ谷図書館、金沢図書館で視覚障害者サービス開始。	平成 10 (1998)	3	図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索サービス開始。
63 (1988)	1	山内図書館改修工事竣工、団体貸出開始。			旭図書館で視覚障害者サービス開始。
	3	横浜市図書館貴重資料展示会「100年前の横浜大探検」開催。	11 (1999)	3	鶴見図書館で視覚障害者サービス開始。
平成 元 (1989)	2	泉図書館開館。市立図書館13館となる。		5	「庁内情報拠点化事業」開始。
	3	栄図書館開館。市立図書館14館となる。	11	11	磯子図書館、磯子区総合庁舎に移転開館。「予約図書情報ダイヤル」サービス開始。
		『横浜市中央図書館資料収集検討委員会報告書』が提出される。	12	12	磯子図書館で視覚障害者サービス開始。
	5	中図書館開館。市立図書館15館となる。	12 (2000)	3	瀬谷図書館で視覚障害者サービス開始。
		「こどもの日」開館開始。		4	市立図書館全館で祝日等年間30日の開館日拡大。中央図書館の火～金曜日の開館時間を午後8時30分までに延長。
	11	「よこはま21世紀プラン」第3次実施計画策定により、中央図書館・分館を含めた図書サービスネットワーク確立の方針を打ち出す。	13 (2001)	12	市立図書館全館で月曜日開館開始。
2 (1990)	1	中央図書館建設のため横浜市図書館休館。	14 (2002)	12	「横浜市中期政策プラン」策定。地区センターとの連携、図書館情報システムの改善を計画。
	3	横浜市図書館仮設館開館。	15 (2003)	1	図書館情報システムを更新。
		山内図書館で視覚障害者サービス開始。	16 (2004)	5	Eメールレファレンスサービス開始。
	9	横浜市図書館を解体、中央図書館着工。	17 (2005)	1	登録更新手続きを開始。
	10	泉図書館で視覚障害者サービス開始。		4	ホームページにバナー広告掲載開始。
3 (1991)	4	神奈川県図書館情報ネットワークシステム(KL-NET)に加入。			ホームページに「Yokohama's Memory《都市横浜の記憶》」を公開。
		バンクーバー公共図書館との図書交換開始。			地区センター等蔵書情報を公開。
	10	中図書館で視覚障害者サービス開始。		5	「地区センター等ネットワーク試行調査事業」先行実施。
4 (1992)	10	栄図書館で視覚障害者サービス開始。		9	貸出レシートに広告掲載開始。
	12	南図書館開館。市立図書館16館となる。		10	インターネットでの予約・貸出延長サービス開始。
5 (1993)	10	横浜市図書館仮設館の個人貸出・閲覧業務を停止。		12	「地区センター等ネットワーク試行調査事業」開始。(二俣川、東戸塚両行政サービスコーナーでの貸出・返却サービス、東急田園都市線3駅への返却ポスト設置)
6 (1994)	1	各図書館で「横浜市立図書館情報システム」による窓口業務開始。	18 (2006)	2	中央図書館でインターネット閲覧サービス開始。
	2	中央図書館一部開館。		10	「横浜市長官舎のあり方懇談会」開設。
	4	中央図書館全面開館。図書館情報システム全面稼働。		12	「横浜市中期計画(横浜リバイバルプランⅡ)」策定。「市立図書館のあり方検討」を計画。
	12	南図書館で視覚障害者サービス開始。			中央図書館「医療情報コーナー」開設。
		「ゆめはま2010プラン」基本計画策定。			戸塚図書館再整備工事着手。
		1区1館達成後、図書館8館の新設と地区センター等とのネットワーク整備を計画。	19 (2007)	1	地域図書館5館(※4)でインターネット閲覧サービス開始。
7 (1995)	4	都筑図書館開館。市立図書館17館となる。		2	全館に「初めて出会う絵本コーナー」開設。
	5	緑図書館開館。市立図書館18館となる。			中央図書館「外国語本コーナー」開設。
		1区1館の達成。		3	中央図書館「ビジネス資料コーナー」改装。
8 (1996)	1	中央図書館で来館困難な障害者に対する配送貸出サービス開始。		7	戸塚図書館再整備工事着手。
	3	神奈川図書館で視覚障害者サービス開始。	平成 19 (2007)	8	『横浜市長官舎のあり方懇談会報告書』の提出を受ける。
	5	中央図書館でCD-ROM検索サービス開始。		10	全館で「ティーンズ・サービス」開始。
	12	緑図書館で視覚障害者サービス開始。			
9 (1997)	3	磯子図書館、移転再整備工事着手。			

※1 トークン式: 登録者に必要な枚数だけプラスチック製の札トークンを渡し、貸出しの時には貸出す本の冊数だけトークンを受け取り、返却のときは返された本の冊数だけトークンを利用者に渡す方法。(『横浜の本と文化』(横浜市中央図書館発行)より)

※2 フォトチャージング式: カメラで撮影して、マイクロフィルムに図書館カードと、書名、日付、通し番号を写し取り、図書貸出記録とする方法。フィルム1巻分の撮影が終わると現像に出し、現像したフィルムはフィルムリーダーで読み取っていた。

※3 記名トークン式: 利用者名が書かれたトークンを、借りる本の冊数だけ図書館に渡す方法。図書館は、記名トークンを返却日ごとに名前の50音順に並べ、返却のときには、図書館職員が記名トークンを探し、利用者に戻していた。

※4 地域図書館5館: 旭・金沢・緑・都筑・栄図書館



トークン(移動図書館で使用)

年	月	事 項	年	月	事 項
平成 19 (2007)	10	「地区センター等ネットワーク試行調査事業」拡充。(青葉区内地区センター等6施設での貸出・返却開始)	平成 26 (2014)	4	「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」施行。各区に読書活動推進担当課長を設置。(地域図書館長が兼務。西区はサービス課長、青葉区は企画運営課長が兼務。)
20 (2008)	1	中央図書館「音楽映像ライブラリー」改装。横浜市立図書館情報紙『@Lib』創刊。	10	ボランティア向けメールマガジン配信開始。	
	4	中央図書館「PCリサーチコーナー」改装。	11	横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」(第1回)開催。	
	12	中央図書館「法情報コーナー」開設。		「第2期 横浜市教育振興基本計画」策定。	
21 (2009)	3	保土ヶ谷図書館耐震補強等工事完了。図書館ホームページリニューアル。	27 (2015)	2	「横浜市立図書館蔵書5か年計画」及び「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」を策定。(平成27年度～平成31年度)
	4	全地域図書館にインターネット閲覧サービス拡大。		3	「横浜市立図書館アクションプラン(第2期)」(平成27年度～平成31年度)を策定。
	4	横浜開港150周年事業を開催。(～12月)		11	横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」(第2回)開催。
	10	開港150周年にあたって小学生から募集した『ヨコハマの子どもが選んだ150冊』を発表。	28 (2016)	1	港南台地区センターでの図書取次サービス開始。
22 (2010)	2	文部科学省による図書館プロジェクト「図書館海援隊」(課題解決支援サービスに取り組む図書館で構成)に参加。	3	「司書人材育成計画」を見直し、「司書職人材育成計画」を策定。	
	3	金沢図書館耐震補強等工事完了。		4	移動図書館はまかぜ号新車両運行開始。
	4	山内図書館で指定管理者による運営を開始、あわせて平日火～金曜日の開館時間を午後8時30分まで延長。	4	都筑図書館、平成28年度子どもの読書活動優秀実践校等文部科学大臣表彰を受賞。	
		中央図書館司書補助業務委託、及び書誌作成業務委託導入。	11	港北図書館、図書館総合展にて地方創生レファレンス大賞審査会特別賞を受賞。	
	7	国民読書年事業として「ヨコハマ、本の虫宣言～2010年は国民読書年」を開催。		横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」(第3回)開催。	
	8	第1回サイエンスカフェ開催。	29 (2017)	3	鎌倉市、川崎市、藤沢市、大和市と相互利用サービスを開始。
	9	「横浜市立図書館司書人材育成計画」を策定。		7	ヨコハマライブラリーカフェの名称を「ヨコハマライブラリースクール」に変更。
	12	山内図書館で有料宅配サービスの試行開始。	11	ツイッター(Twitter)による情報発信を開始。	
23 (2011)	1	「横浜市立図書館アクションプラン」を策定。「横浜市教育振興基本計画」が策定される。		横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム(第4回)開催。	
	3	「蔵書再構成5か年計画」及び「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」を策定。	30 (2018)	4	横須賀市と相互利用サービスを開始。
	4	都筑図書館、戸塚図書館司書補助業務委託導入。行政サービスコーナーでの図書取次サービスをオンライン化。		鶴見図書館、平成30年度子供の読書活動優秀実践校等文部科学大臣表彰を受賞。	
		横浜市立図書館メールマガジンの配信を開始。		ふるさと納税(横浜サポーターズ寄附金)受付開始。	
	6	横浜市立図書館創立90周年。記念事業開催。	12	「第3期 横浜市教育振興基本計画」策定。	
	7	節電のため9月まで、中央図書館を除く地域図書館で、週1日輪番による休館を実施。	31 (2019)	2	蔵書検索ページをリニューアル。
24 (2012)	1	地域情報発信のための基盤整備モデル事業実施。		横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム@旭区開催。	
	8	サイエンスカフェの名称を「ヨコハマライブラリーカフェ」に変更。	4	緑図書館、平成31年度子供の読書活動優秀実践校等文部科学大臣表彰を受賞。	
25 (2013)	1	図書館情報システムを更新。	令和 元 (2019)	12	「第二次 横浜市民読書活動推進計画」策定。
	3	市立図書館ホームページに「ボランティア活動お役立ち情報」サイト開設。	2 (2020)	2	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム@戸塚区を中止。
	6	「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」公布。		3	図書館の一部サービスを停止。「横浜市立図書館アクションプラン」「横浜市立図書館蔵書5か年計画」「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」を統合し「横浜市立図書館運営実行プラン」を策定。(令和元年度～令和4年度)
	10	市立学校への学校司書の配置開始。学校司書への研修・交流会を実施。			
平成 26 (2014)	3	港北図書館耐震補強等工事完了。図書館ホームページトップページリニューアル。「横浜市民読書活動推進計画」が策定される。			